

南部病院と地域のふれあいマガジン

なんぶメール

n a n b u - m a i l

ご自由に
お持ちください
TAKE FREE

vol.32
2021.3

- 「口腔がん」について
- 「咽喉頭がん・甲状腺がん」について
- 「膀胱腫瘍」について
- 「女性特有のがん」について
- 「がん相談支援センターの取り組み



〈南部病院の理念〉

思いやりの心と質の高い医療で、
地域の皆さまから信頼される病院を目指します

〈南部病院の基本方針〉

- 良質な地域医療、救急医療による地域への貢献
- 他の医療機関との密接な連携と、患者さん中心の医療の実践
- 医療・保健・福祉サービスの総合的な提供
- 地域医療関係者および職員の相互研鑽



社会福祉法人

恩賜
財団

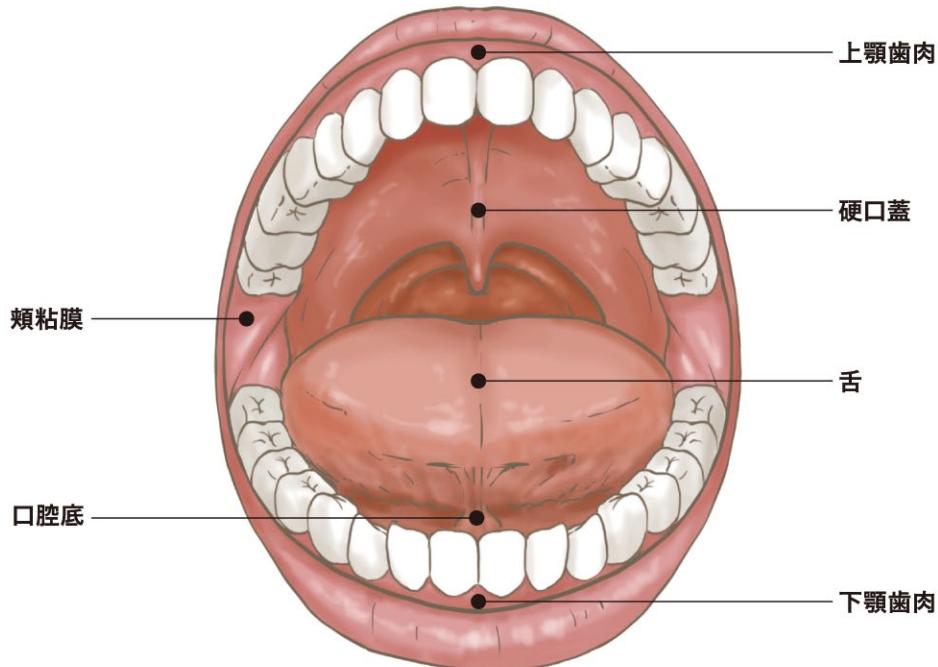
済生会横浜市南部病院

口腔がん

歯科口腔外科 飯田昌樹
青木紀昭

口腔(口の中)に出来る悪性腫瘍を口腔がんと呼びます。具体的な場所としては舌、上下歯肉、頬粘膜、口腔底、硬口蓋で、口腔がんの約6割は舌がんです。また、口腔がんは全がんのわずか2%で希少がんとされています。

発生の原因は明らかではあります。しかし、喫煙、飲酒、口腔不衛生が危険因子と考えられており、さらに遺伝要因、頭頸部への放射線治療の既往、ウイルス、虫歯や義歯による刺激なども関与すると言われています。



症状

口腔は直接見て、触れることが出来る場所であるため早期発見しやすい部位である一方、初期の口腔がんは痛みや出血などの症状がない場合も少なくなく発見が遅れることがあります。また、舌がんや頬粘膜がんは口腔内炎に、歯肉がんは歯周病に間違われることが多く、様子を見ている間に進行してしまうたり、抜歯されてしまったりすることがあるので要注意です。症状としては、痛み、出血、悪臭、しこり、歯の動搖、首のリンパ節の腫れなどがあります。当てはまる症状がある場合はかかりつけ歯科医院あるいは病院口腔外科の受診をお勧めします。

検査・治療方法

口腔がんが疑われる場合には、生検（組織の一部を採取して顕微鏡で調べる）を行い、口腔がんかどうか診断します。また、造影CT、造影MRI、超音波検査、PET-CTなどを行い、病期（ステージ）を確定して治療方針を検討します。

治療は手術が第一選択です。早期がん（比較的小さく、頸部リンパ節転移がない）場合には原発巣（舌がんであれば舌）の切除手術のみ、進行がん（比較的大きい、あるいは頸部リンパ節転移がある）場合には原発巣の切除とともに頸部郭清術（首の手術）を行い、同時に再建手術（腕やお腹の組織を移植する手術）が必要になります。肺などへの遠隔転移を認める場合には手術ではなく、抗がん剤や放射線治療の適応になります。

手術可能な病態であっても手術以外の治療を希望される場合には、放射線治療と抗がん剤治療の併用療法があります。可能な施設は限られていますが、組織内照射、局所治療効果が高い超選択的動注化学放射線療法や、陽子線を用いた放射線治療などもあります。

終わりに

口腔がんの多くは歯科医院で発見されます。一方で口腔炎や歯周病と間違われて診断が遅れるケースもあります。まずは、かかりつけ歯科を持って下さい。その上で

口腔がん セルフチェック表

- ① タバコを吸う（過去に吸っていた）
- ② 50歳以上で、飲酒頻度、量が多い
- ③ 飲酒するとすぐに顔が赤くなる
- ④ アルコールが強いお酒が好き
- ⑤ 毎日歯を磨かない
- ⑥ 定期的に入れ歯のお手入れをしない
- ⑦ 頻繁に舌や頬を噛んでしまう
- ⑧ 入れ歯や歯の詰め物が当たって痛みがある
- ⑨ 偏食な方
- ⑩ 過去にがんになったことがある

チェックがついた方は、口腔がんになるリスクが高くなります。是非かかりつけ歯科を持って、定期健診を受けてください。早期発見、早期治療が何よりも重要です。

Q & A

● 治療を行うことで、仕事や日常生活への影響はどの程度考えられますか？

開業医の先生方が少しでも「おかしいな？」と思うような病態であれば、ぜひ当科にご紹介下さい。適切に、迅速に対応させて頂きます。病状によつては専門性の高い医療機関へ連携させていただきます。

手術であれば照射の範囲によって、程度の差はあるものの咀嚼・嚥下障害、構音障害、審美障害などが必ず出現します。病状、年齢、腫瘍の位置によつて様々ですが、一般論としては早期がんであれば比較的軽度、進行がんであれば比較的重度の障害があると言えます。日常生活への影響も含めて、主治医と相談し納得の上で治療を受けることが重要です。

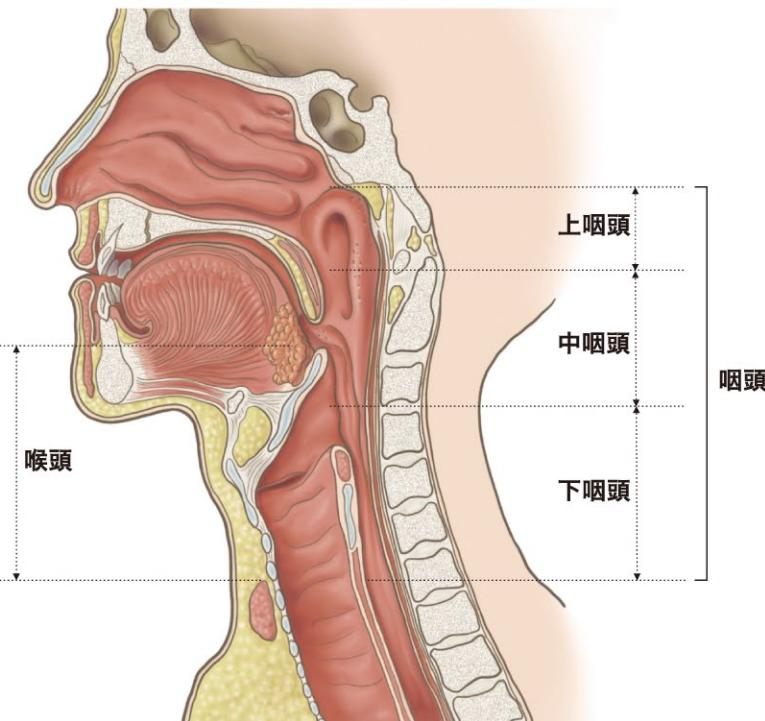
● 治療には入院が必要ですか？必要なならば、どれくらいの期間ですか？

基本的には入院が必要です。手術の場合、原発巣の切除だけであれば入院期間は1～2週間、再建手術が必要な場合には1～2か月になります。化学放射線療法の治療中には比較的重度の皮膚炎や口腔内炎が起こることが多く、全身的な合併症の可能性もあり、治療の内容や患者さんの状態によって外来通院か入院治療かを判断します。

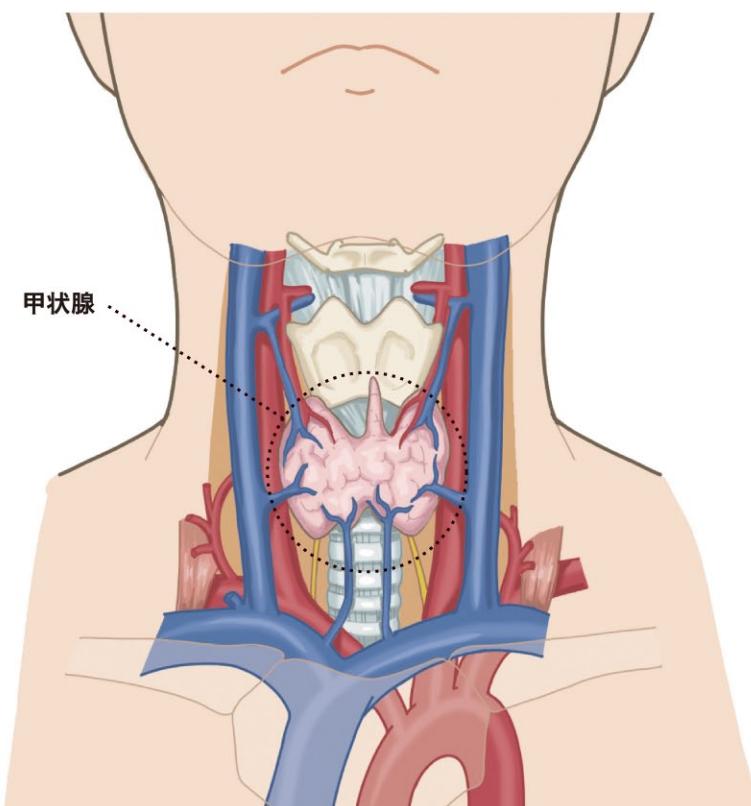
咽喉頭がん・甲状腺がん

耳鼻咽喉科 山本 鑿

咽頭とは鼻の奥から食道の入り口までの食べ物や空気が通る場所で、解剖学的に上咽頭・中咽頭・下咽頭の三つの部位に分かれます。喉頭とは気管と咽頭をつなぐ器官で主に発声と呼吸に関係しています。甲状腺は胸骨のすぐ上、のどぼとけの下の位置にある器官で、通常は触ってもわかりづらいですが、腫瘍が出来るとたまりとして触れることがあります。それぞれの部位にできるがんを咽頭がん、喉頭がん、甲状腺がんと呼び、主に耳鼻咽喉科で治療を行っています。



イラスト①



イラスト②

症 状

上咽頭がんでは鼻閉・耳閉感・難聴などが、中咽頭がん、下咽頭がんでは嚥下時の違和感や咽頭痛、出血、首の腫れなどが起きる場合があります。

喉頭がんでは初期には声の嗄れが生じることが多く、病状が進むと血痰や息苦しさなどが起きます。

甲状腺がんでは甲状腺がある部位(イラスト②)の腫れ以外に違和感や痛み、嗄声などが起きる場合があります。

こういった症状がある場合には耳鼻咽喉科で検査を行います。

検査・治療方法

がんが疑われる症例に対しては、採血(腫瘍マーカーなど)、画像検査(頸部エコー、CT、MRIなど)といった比較的侵襲の少ない検査は必ず施行します。

それに加え、咽頭がん・喉頭がんが疑われる場合には喉頭ファイバースコープと呼ばれる細径の内視鏡を鼻から挿入し症状のある部位をよく観察します。

そのうえで腫瘍があると考えられる部位をよく麻酔したのちに、その組織を一部採取して診断します。

甲状腺がんが疑われる症例に対してはエコーで観察しながら細径の針(採血の針程度ですのでそれ程痛みはありません)で腫瘍を穿刺し細胞を採取して診断します。

終わりに

2019年より、甲状腺腫瘍や頸部の腫れに関しての診断・治療は耳鼻咽喉科で診療をしております。2020年度には21例の甲状腺腫瘍手術を実施しています。

首の腫れ、痛みなどでお困りの患者さんがいらしたら迅速に対応いたしますのでご相談ください。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年度には21例の甲状腺腫瘍手術を実施しています。

●治療を行なうことで、仕事や日常生活への影響はどの程度考えられますか？

手術、放射線、抗がん剤いずれの治療も副作用を伴い、治療の種類やその組み合わせによって日常生活への影響は様々です。進行したがん治療の場合、例えば喉頭がんであれば喉頭摘出という正常な発声機能が失われる手術が根治に必要となる場合があり、その際の日常生活への影響は大きいです。

しかし、初期のがんでは、治療期間中に粘膜炎、皮膚炎といった副作用によって仕事や日常生活がやや困難になりますが、永続的に重い合併症が残るということはありません。

Q & A

咽頭がん セルフチェック表

- ① 片方の耳のつまつた感じや、難聴が続いている
- ② 毎回喉の同じ場所に、異物感や違和感を感じことがある
- ③ 食べ物を飲み込む時、いつも同じ場所に痛みやしみたりすることがある
- ④ 食べ物が飲み込みにくい
- ⑤ 片方の扁桃腺が大きくなっている
- ⑥ 声がかすれて、なかなか治らない
- ⑦ 首にしこりがあり、日に日に大きくなってきた

チェックがついた方は、咽頭がんの可能性があります。

是非耳鼻咽喉科での、受診をお勧めします。

早期発見、早期治療が何よりも重要です。

●治療には入院が必要ですか？必要ならば、どれくらいの期間ですか？

いずれのがんに対しても、放射線・薬(抗がん剤などの点滴または内服)・手術、といった治疗方法を単独または組み合わせて行います。

病期によってその組み合わせは様々で、例えば喉頭がんの初期のものであれば放射線だけの治療を行い、その場合には約2か月程度の通院が必要ですが、入院する必要はありません。

また、甲状腺がんの場合治療はほとんどが手術であり、入院期間は平均1週間程度になっています。しかし、進行した咽頭がんなどで放射線、薬の点滴、手術を行なう場合には数か月の入院が必要となる場合もあります。

膀胱腫瘍

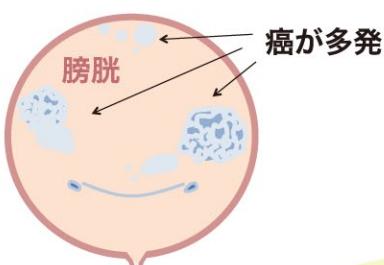
泌尿器科 鈴木 康太郎

膀胱の粘膜から生じる悪性腫瘍を膀胱がんと呼びます。膀胱にできる腫瘍には良性の腫瘍や炎症性の腫瘍もありますが、統計的には膀胱がんが多くを占めます。膀胱がんの特徴は「空間的・時間的多発性」と表現されます。これは、発見時に膀胱内に腫瘍が多発していることが多い、一度治療を行ってもまた時間を経て膀胱内にがんが繰り返し再発（多重再発）することが多い、という膀胱がんのやっかいな性質を示しています。膀胱内にひどい腫瘍が発生すると、がん細胞が尿中に遊離してきますが、膀胱は尿を長時間貯留する臓器のため浮遊しているがん細胞が膀胱の正常壁に付着・定着（膀胱内播種）しやすく、「空間的・時間的多発性」の原因の一つとなります。

膀胱がん発生の最大のリスク因子は喫煙です。喫煙者では2~5倍程度、膀胱がんの発症リスクが高くなります。また、特殊な化学物質への曝露、膀胱内の慢性炎症、特定の抗がん剤や放射線治療による二次発がんなどもまれにみられます。

膀胱癌の特徴

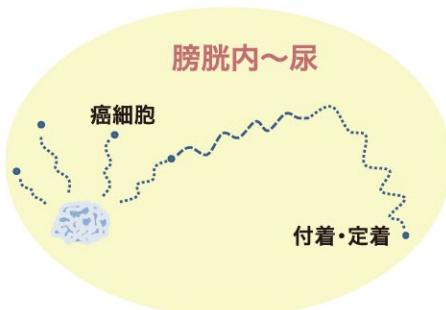
- ①発見時に膀胱内に多発していることが多い



- ②膀胱内再発が多い

【膀胱内播種】

尿中を癌細胞がただよって、癌の種を飛ばす
多発性・再発性の原因の一つ



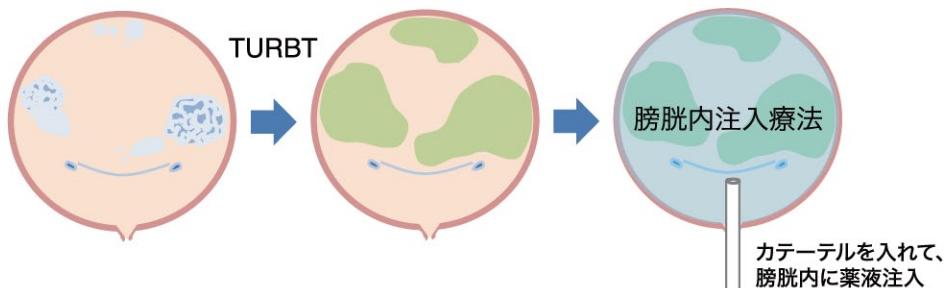
症 状

膀胱がんの発見契機となる主な臨床症状は、血尿（肉眼的血尿・尿潜血）、膀胱刺激症状（頻尿・排尿時痛・残尿感等）です。特に無症候性肉眼的血尿（血尿以外に自覚症状がないもの）は、最も膀胱がんを疑うべき症状で、20%前後の方に膀胱がんが発見されます。ただし、肉眼的血尿はあまり持続しないことが多く、症状が改善したから大丈夫と経過を観察していくと、また腫瘍が発生すると、がん細胞が尿中に遊離してきますが、膀胱は尿を長時間貯留する臓器のため浮遊しているがん細胞が膀胱の正常壁に付着・定着（膀胱内播種）しやすく、「空間的・時間的多発性」の原因の一つとなります。

また膀胱がんの1/3には膀胱刺激症状がみられるため、治療に難渋する膀胱炎様症状がある場合は膀胱がんも疑って精密検査を行う必要があります。

膀胱内注入療法

手術(TURBT)にて処理ができない目に見えないレベルの微小残存腫瘍を治療



使用薬剤	抗癌剤	腫瘍細胞に接触後、細胞内に取り込まれ、抗腫瘍効果を発揮
	BCG	腫瘍細胞に接触後、免疫作用を介して、抗腫瘍効果を発揮

診断は膀胱の内視鏡検査(膀胱鏡)にて行います。補助検査として尿検査や尿細胞診(尿中の異型細胞を検出)、超音波検査などの画像検査があります。病状によって、CTやMRIなどの画像検査を追加し、病期の診断を行います。

治療方法

Q & A

- 治療には入院が必要ですか、必要ならば、どれくらいの期間ですか？

入院期間は施設により差がありますが、当院では6日前後となっております。

- 治療を行うことで、仕事や日常生活への影響はどの程度考えられますか？

膀胱内の手術の後は、頻尿や排尿時痛が問題となります。膀胱の粘膜は傷がつくと敏感になります。切除した腫瘍の量が少ない場合は、術後の影響は限定的ですが、腫瘍の量が多くなると切除範囲も広くなるため、膀胱炎様の症状が強くなり、薬物での症状緩和や生活の工夫が必要となることもあります。また、飲酒や力仕事は術後血尿の原因となるため、しばらくは避けていただくようになります。

終わりに

これまでお話ししたように、膀胱がんは再発の多い非常に厄介ながんです。多重再発による頻回の入院・手術は経済的にも時間的にも患者さんに大きな負担となりますし、何度も繰り返して膀胱内の手術を行うと、排尿への影響も懸念されます。現在、喫煙をされている方は、ぜひ禁煙をご検討ください。

女性特有のがん

(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん)

産婦人科 遠藤方哉

【子宮頸がんについて】

子宮は、子宮頸部と子宮体部に大きく分かれます(図1)。子宮頸部から発生するがんを、子宮頸がんと呼びます。患者数も死亡数も増加傾向にあるがんで、発症のピークも30代後半と他のがんに比べ若くなっています。子宮頸がんにはいくつかのタイプがありますが、最も多い「扁平上皮がん」は、ヒトパピローマウイルス(HPV)の持続感染により、「異形成」と呼ばれる前がん段階を経てがんが発生することが明らかになっています。そのため、HPVワクチンの投与と、子宮頸がん検診により異形成の段階で発見し治療するという2段階での「予防」が推奨されています。異形成の段階や、初期の状態では何も症状がないことも多いがんですが、進行してきた場合は不正性器出血やむくみなどが症状として現れることがあります。治療は、がんの進行の

程度により、手術療法や放射線、化学療法が選択されます。

【子宮体がんについて】

子宮体がんは、子宮内膜と呼ばれる部分から発生することが多く、初期の段階から自覚症状として不正性器出血が多く出現します。しかしながら、発症のピークが閉経前後の40代後半から50～60代に認められるため、月経不順との区別がつかず受診が遅れる場合も多くあります。子宮体がんには様々なタイプがありますが、もともと月経不順があつた場合や、肥満・高血圧・糖尿病を合併する場合、妊娠・出産の回数が少ない場合などが最も多いタイプのリスク因子と考えられており、特にそのような既往がある方で不正出血が続く場合は、早めの受診が必要です。治療は、手術療法が基本となることが多く、初期がんの場合に

は、腹腔鏡手術が適応になる場合もあります。進行の程度により、化学療法が選択される場合もあります。

【卵巣がんについて】

卵巣には様々な種類の腫瘍が発生します。子宮の左右にそれぞれ一つずつあります。子宮の左右にそれぞれ一つずつありますが、もともと閉経前で2～4cm、閉経後では1～3cmと非常に小さい臓器のため、腫瘍が発生しても初期に症状がでることはほとんどありません。子宮がんと異なり、体の外とつながっている部分がないため、確定診断のためには手術で摘出することで確定診断がつく場合が多く認められます。手術に加え、化学療法による治療をすることが多く、がんの種類によってどのような化学療法を選択するか決定していくます。

●治療を行なうことで、仕事や日常生活への影響はどの程度考えられますか？

婦人科がんはその多くが「働き盛りの」女性に発症します。そのため病気 자체の心配と同時に、職場や家庭内での役割が全う出来るか、さらに女性としての生活が取り戻せるか、等々不安もあります。婦人科がんの治療の3本柱である手術療法、化学療法(いわゆる抗がん剤)、放射線療法、それぞれの副作用・副障害がありますが、それさえクリアできれば大丈夫。治療前の生活と同様のスタイルが可能な場合がほとんどです。

その中で女性特有の問題としては、卵巣機能が失われる可能性があること。それにより更年期症状が顕性化したり、骨密度が低下する骨粗鬆症になつたりする可能性があります。そのため食事には、より注意してカルシウムやビタミンDを摂取するように心がけてください。適度な運動も必要です。性生活に関しては、卵巣機能が失われるごとににより陰嚢の潤いが低下したり、広汎子宮全摘術により陰嚢が短縮したり、放射線療法によって陰嚢が硬くなったりすることはありますが、ゼリーを使用したりすることなどで対応できると思います。

ただ子宮や卵巣は女性にとってのアイデンティティとして非常に大切なものの、それを失った喪失感は計り知れないものでしょう。それを埋める方

法として、「キャンサー(ズ)ギフト」という考え方もあります。これは人によって様々ですが、がんになつたことで、周りの人へのやさしさが見えたり、一日の大切さを知つたり…。

今回がんになつたからこそ得られた経験、価値観を前向きにとらえる考え方です。このような考え方のあることも知っておくとよいかもしれません。

●治療には入院が必要ですか？必要ならば、どれくらいの期間ですか？

婦人科がんの治療ですが、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、またそれ進行度により様々です。手術療法であれば1泊(2日間)入院の円錐切除や、4泊(5日間)入院の腹腔鏡下手術、約10日ほど入院を要する開腹手術などがあります。円錐切除であれば術後翌日には「仕事」に復帰できると思います。腹腔鏡手術では、あくまでそれぞれの人によりますが、退院後2～3日で、開腹手術でも退院後3～4日で復帰可能です。

化学療法といつても実際にはいろいろな「抗がん剤」があり、その投与方法も様々です。ただいずれにしても基本的には外来通院で実施しています。「仕事」との両立も可能です。

終わりに

南部病院では、子宮頸がん、体がん、卵巣がんなど、どのような疾患でも、どのステージの患者さんにも対応しています。広汎子宮全摘などの手術や、子宮体がん一期には腹腔鏡下での子宮全摘も実施しています。これらの治療の選択にあたっては、ご本人ご家族と十分に話し合つたうえで決定していきますが、あくまでガイドラインに則つた標準治療を提案し行っていますので、今後もぜひ当院へご紹介ください。

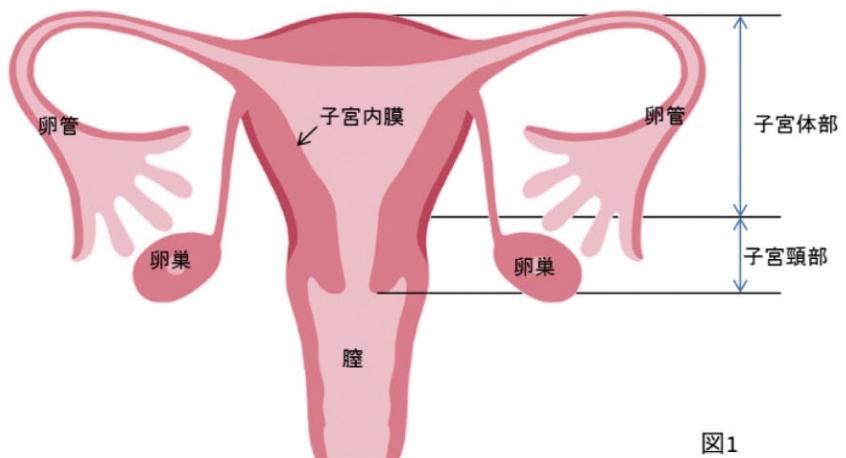


図1

ための取り組み



こちらのQRコードから
南部病院ホームページ
「がん診療」をご覧いただけます。

がん体験者同士がつながる場「がんサロン」と「ピアサポート」

がんサロン「ももの会」～がん体験者との語り合いの場、仲間づくり～

当院では、がんを経験した患者さんやご家族が集まって、共通のテーマについて学んだり自由に語り合って交流を深める場として、「ももの会」という患者サロンを開いています。毎回5～8人が参加してくださり、リラックスした雰囲気の中で情報交換ができると好評を得ています。昨年は、コロナ禍の影響で開催できませんでしたが、オンラインでの開催を始めました。詳細はホームページでご確認ください。

〈開催日時〉

毎月第1木曜日 14:00～15:00(事前予約制・無料)

〈問い合わせ先〉

がん相談支援センター

ピアサポート～がん体験者と対面で相談できます～

ピアサポートは、がん患者さんやご家族が、誰でも気軽に立ち寄ることができ、悩みや不安を安心して話せる場所です。本来ピアサポートとは、「同じような境遇やよく似た体験を持つ者同士が助け合う」という意味を持っており、当院では1名のがん体験者がサポートしています。がんを経験した人同士にしか分からぬ気持ちや心配事などを言葉に出し、分かち合うことで、また一步前に進むことができるかもしれません。コロナ禍の影響により現在は休止しています。再開はホームページにてご案内いたします。

〈開催日時〉

毎週月曜日 11:00～16:00(予約不要・無料)

〈場所〉

病院西玄関(駅側)向かいMR棟1階

〈問い合わせ先〉

がん相談支援センター

緩和ケアチーム～がんと診断されたら緩和ケアを～

緩和ケアは、がんによる症状をできるだけすみやかに和らげることを目的としています。痛み以外のだるさや息苦しさなどの身体的な苦痛、不安、恐怖、気分の落ち込みなどの精神的な苦痛に対しても、症状を緩和し、患者さんとご家族ができる限りその人らしく快適な生活を送っていただけるように支援します。緩和ケアは、手術や抗がん剤など積極的治療と平行して、苦痛があるすべてのがん患者さんに提供されるものです。緩和ケアチームは、主治医をはじめ、緩和ケアを担当する医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、栄養士といったメンバーで構成されています。さまざまな職種が協力して、より質の高い緩和ケアに取り組んでいます。緩和ケアチームでは、緩和ケアへの理解を深めていただくための緩和ケア教室を毎月開催しています。

●緩和ケア教室

第1回：毎月第2水曜日 13:30～14:30【医師と薬剤師の話】

第2回：毎月第3水曜日 13:30～15:00【看護師とソーシャルワーカーの話】

〈場所〉病院西玄関(駅側)向かいMR棟1階

〈申し込み方法〉1階薬剤窓口または電話 045-832-1111(緩和ケア教室担当)

がん患者さんとご家族をサポートする

がん相談支援センター

がん相談支援センターは、「がんと生きる。」をサポートします！

がん相談支援センターでは、がん専門相談員（看護師2名と医療ソーシャルワーカー1名）が、患者さんやご家族が抱える様々なご相談をお受けしています。南部病院に通院中の方だけではなく、地域住民の方であればどなたでも無料で相談できます。

どんなことが相談できるの？

がんに関連するご相談であればどのような内容でもお受けします。ただし、治療の内容について担当医に代わって判断するところではありませんので了承ください。また、ご相談の内容はご本人の承諾なしに他者に話すことは一切ありませんのでご安心ください。

- がんと言われてこれからどうしてよいのか不安。とにかく話を聞いて欲しい。
- 医師から病気のことや治療の説明を受けたが、よくわからない。
- セカンドオピニオンを受けたいが、どうすればよいか。
- 身体やこころのつらさについて相談したい。
- 治療の副作用がつらいので、生活の工夫の仕方を知りたい。
- 緩和ケア病棟のことが知りたい。
- 治療にかかる費用が心配。
- 仕事と治療の両立ができるのかが心配。仕事のことについて相談したい。
- できるだけ在宅で生活したいが、どんな方法があるのか知りたい。など

相談方法は？

直接対面でお話をうかがいする方法とお電話でご相談をお受けする方法があります。「がん相談支援センター」に直接お越し頂くか、すぐに相談をお受けできない場合は予約を取させていただいている。

〈受付時間〉月曜日～金曜日 9:00～17:00

〈電話番号〉045-832-1111(代表)「がん相談支援センター」

〈場 所〉病院西玄関(駅側)向かいMR棟1階

がんになっても自分らしく！〈アピアランスケア〉

特に働く世代や子育て世代のがん患者さんへのサポートとして、アピアランスケアに取り組んでいます。アピアランスケアは、がん治療による脱毛や皮膚・爪の障害などの外見の変化のために、前向きになれない、外に出たくないといった悩みを抱える方が、自分らしさを取り戻すことができるようにするためのケアです。当院では、個々の患者さんの悩みに対応するためのアピアランスケア外来と、外見の変化への対策について皆で学ぶためのアピアラスケア教室を行っています。

●アピアランスケア外来

〈日 時〉月曜日～金曜日 11:00～16:00

〈場 所〉病院西玄関(駅側)向かいMR棟1階

〈問い合わせ先〉がん相談支援センター

●アピアランスケア教室

〈日 時〉毎月第1月曜日 14:00～15:00(予約不要・無料)

〈場 所〉病院西玄関(駅側)向かいMR棟1階

〈問い合わせ先〉がん相談支援センター

新型コロナウイルス感染症に対する 済生会横浜市南部病院の取組み

患者さん・ご家族の安心・安全を
最優先にして、職員一同、
感染予防対策に努めてまいりますので、
ご理解、ご協力賜りますよう
お願い申し上げます。

除菌清掃・換気の実施



イス、手すり、ドアノブ、
カウンターなど多くの方が
触れる箇所につきましては、
適宜清掃・換気を行っております。

面会の制限



日々の感染状況を確認しながら、
都度面会の制限を行っております。
当院ホームページを
ご確認ください。

マスク着用・手指消毒の実施



全職員にマスク着用・手指消毒
の徹底をしております。また、
患者さんにもマスク着用・入口での
手指消毒のお願いをしております。

職員の体調管理の把握



『職員健康チェック表』を
使用して、日々の体調管理の
把握を実施しております。

ソーシャルディスタンス



ご来院の際にはソーシャルディ
スタンス（社会的距離）を取って
待合室等をご利用いただくよう
ご協力をお願いしております。

検査体制の強化



院内でのPCR検査を可能とし、
迅速に検査ができる体制を
整えております。

自動検温装置の設置



西玄関通路にサーモカメラ
による自動検温装置を設置し、
来院の皆さんに検温をお願い
しております。

今回のなんぶメールは
いかがでしたか？

よろしければアンケートへ
ご協力ください。

（登録不要・所要時間3分）



南部病院広報誌

なんぶメール vol.32
2021.3

2021年3月発行

【発行人】院長 竹林 茂生
【編集】南部病院広報委員会
【制作】株式会社アルファクリエイト

社会福祉法人
恩賜財団

済生会横浜市南部病院

〒234-0054 横浜市港南区港南台3-2-10
TEL:045-832-1111(代表) FAX:045-832-8335
ホームページ www.nanbu.saiseikai.or.jp